

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和4年11月21日)

[件 名]

- 第4回万葉の郷とっとりけん全国高校生短歌大会の開催結果について
【文化政策課】・・・ 2ページ
- 令和4年度鳥取県文化功労賞知事表彰受賞者の決定について
【文化政策課】・・・ 3ページ
- 第22回全国障害者スポーツ大会における鳥取県選手団の結果について
【スポーツ課】・・・ 4ページ
- ねんりんピックはばたけ鳥取2024開催2年前記念イベントの実施について
【ねんりんピック・関西ワールドマスターズゲームズ推進課】・・・ 5ページ
- 第2回中山間地域等サポートチーム会議の開催結果について
【中山間地域政策課】・・・ 6ページ
- 令和4年度中山間地域等活性化・移住定住促進協議会の開催結果について
【中山間地域政策課】・・・ 7ページ
- とっとり弥生の王国フェスタ（むきばんだ・青谷かみじち）の開催について
【とっとり弥生の王国推進課】・・・ 8ページ

地域づくり推進部

第4回万葉の郷とっとりけん全国高校生短歌大会の開催結果について

令和4年11月21日
文化政策課

本県を「万葉の郷とっとりけん」として広く周知するとともに、若い世代における短歌文化の振興のために、「第4回万葉の郷とっとりけん全国高校生短歌大会」を開催しました。
応募総数117チーム（16校）のうち、予選を通過した6チームが短歌とパフォーマンスで競いました。

- 1 日時 令和4年11月13日（日）午前10時～正午
- 2 会場 県民ふれあい会館 ホール ※3年ぶりの対面・参集開催（R2、R3は一部オンライン）
- 3 対戦方法 予選審査を通過した6チームにより、トーナメント方式の団体戦を行う（準決勝3試合及び決勝の合計4試合）。各チームは万葉衣装に身を包み、自由なパフォーマンスで作品を発表し、審査員との質疑応答を行う。

4 出場チーム

チーム名	学校名
豊立（とよりつ）	東京都立豊多摩高等学校（東京都）・立教池袋高等学校（東京都）
アップルシナモン	神奈川県立光陵高等学校（神奈川県）
らいちばんなこったマーボー	神奈川県立光陵高等学校（神奈川県）
高田PLANTSⅡ（たかだぶらんつー）	高田高等学校（三重県）
銀木屋（ぎんもくせい）	鳥取県立鳥取東高等学校（鳥取県）
金木屋（きんもくせい）	鳥取県立鳥取東高等学校（鳥取県）

5 本選大会結果

- (1) 優勝 チーム名「豊立（とよりつ）」（東京都立豊多摩高等学校・立教池袋高等学校）
先鋒 「流暢な寝言のせいで目の前をシンカイウリクラゲが泳いだ」 2年 浪花 小槇
中堅 「アロエから音が聞こえたきゅうというアロエにしては女々しい声の」 2年 小幡 曜
大将 「広すぎる竜の背中に飛び乗ってランチパックを分け合しましょう」 2年 佐藤 七海
- (2) 準優勝 チーム名「金木屋」（鳥取県立鳥取東高等学校）
- (3) 第3位 チーム名「らいちばんなこったマーボー」（神奈川県立光陵高等学校）
- (4) パフォーマンス特別賞 「アップルシナモン」（神奈川県立光陵高等学校）
「高田 PLANTSⅡ」（高田高等学校）
- (5) 審査員特別賞 ※応募作品から予選及び本選大会の審査員が1首ずつ選定。
大辻隆弘賞 「手のひらに刺さった鉛筆の芯は今も心臓目指して進む」
立教池袋高等学校 2年 小幡 曜
穂村弘賞 「夕焼けを一緒に入れて送る手紙放課後静かな廊下を歩く」
鳥取県立鳥取東高等学校 2年 小笹 由惟
江戸雪賞・小島なお賞 「でつぷりなオタマジャクシがゐたのです早送りできない日常のすみに」
高田高等学校 1年 加藤 晴香
大森静佳賞 「いつの日か私も大人になるのかな 高く黒い尖った塔に」
神奈川県立光陵高等学校 1年 岩本 菖

6 審査員

大辻 隆弘 氏（歌人、「未来」編集発行人・選者、現代歌人協会会員、現代歌人集会理事）
穂村 弘 氏（歌人、歌誌「かばん」所属、日経新聞歌壇選者）
江戸 雪 氏（歌人、「西瓜」同人、中之島歌会、2022年度「NHK短歌」選者）

7 その他

対戦後の講評では、審査員が「挑戦的な作品のチームと素直に詠んだチームとがあり、スタイルは違えど優れたものがぶつかるときの興奮があった」「素晴らしい作品が多く、両方に（札を）挙げたい対戦もあった」などとお話しされ、高校生の短歌が高く評価された。

令和4年度鳥取県文化功労賞知事表彰受賞者の決定について

令和4年11月21日
文化政策課

鳥取県文化功労賞は、優れた文化芸術活動により広く文化の振興に功績のあった者の功労をたたえ、もって県民文化の向上発展に資することを目的として、平成15年度に創設し、令和3年度までに27分野、51名を表彰しています。

今年度は、以下のとおり、2名の受賞者を決定し、2月下旬から、受賞者の功績を紹介する受賞記念巡回展の実施を予定しています。

1 鳥取県文化功労賞受賞者（年齢順、敬称略。年齢は11月21日時点のもの。）

氏名等	選考理由
なかお ひろたろう 中尾 廣太郎 (73歳) 美術(洋画) 鳥取市	大学卒業と同時に作家活動に入り、現在まで画業に専念して、精力的に個展やグループ展を行っている。 個性的な画風で知られ、全国公募展での受賞歴のほか、全国の美術雑誌でたびたび取り上げられるなど、高く評価されている。また、歴史ある全国公募の美術団体・東光会で審査員などを務めるなど、全国的に活躍している。 県内では、県展、市展の審査員を務めるほか、鳥取東部から但馬の作家を集めて鳥取洋画家協会を設立し、まとめ役として東部の美術界を牽引している。
きしもと あきら 岸本 章 (71歳) 美術(日本画) 鳥取市	全国公募展への出品を続け、日展で入選20回以上、特選1回を受賞し、また菅楯彦大賞展で大賞を受賞するなど、全国的に高い評価を得ている。 自然に恵まれた山陰の風景や人物画を主なテーマとして、県内外で個展活動を精力的に続け、近年はイカ墨顔料を使った新たな表現にも挑戦している。 県展の運営委員及び審査員を長年務め、県内の美術振興に大きく貢献するとともに、絵画教室等で後進の指導を行うなど、普及育成の面においても尽力している。

2 表彰式 調整中

3 受賞記念巡回展の開催

米子市美術館 令和5年2月23日(木)～26日(日)
倉吉博物館 令和5年3月1日(水)～5日(日)
鳥取市文化センター 令和5年3月9日(木)～12日(日)

第22回全国障害者スポーツ大会における鳥取県選手団の結果について

令和4年11月21日

ス ポ ー ツ 課

10月29日(土)から31日(月)までの間、栃木県で開催された第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」に参加した本県選手団の成績について報告します。

1 概 要

(1) 参加者数

- ・本部役員 9名
- ・役員 25名
- ・選手 25名

(2) 獲得メダル数 20個

- ・金メダル 8個(種目:陸上競技6個、卓球1個、ボーリング1個)
- ・銀メダル 4個(種目:陸上競技2個、卓球1個、フライングディスク1個)
- ・銅メダル 8個(種目:陸上競技3個、水泳1個、卓球2個、ボッチャ1個、フライングディスク1個)

2 総 括

大会新記録を含む金メダル8個、銀メダル4個、銅メダル8個の合計20個のメダルを獲得した結果、メダル獲得率は71.4%となり、前回大会の64%を上回り、鳥取県スポーツ推進計画で掲げている目標数値である60%を超える結果を残した。

- ・陸上競技では県強化指定選手の川口梨央(かわぐち りお)選手が、走幅跳・100mの二種目で大会新記録で金メダルを獲得。
- ・卓球競技では、日本パラ卓球協会の強化指定選手でもある宮崎恵菜(みやざき えな)選手が力を発揮し金メダルを獲得。また、今年度から初出場となる精神障がい部で柴田健次(しばた けんじ)選手が銀メダルと大健闘。
- ・今大会から正式種目となったボッチャでは、立位・座位ペア混合に上野柊斗・安達和幸組が出場し、3組で行われるリーグ戦で惜しくも0勝2敗の3位だったが、初出場した今回の経験を活かし、今後の活躍に期待したい。

3 メダル内訳等(正式競技)

()は前回福井大会の数

出場競技	出場者数	出場種目数 (延べ)	メダル数				
			金	銀	銅	合計	
個人競技	陸上競技	6 (9)	12 (18)	6 (3)	2 (3)	3 (4)	11 (10)
	水泳	2 (3)	4 (6)	0 (0)	0 (2)	1 (2)	1 (4)
	アーチェリー	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	卓球	4 (2)	4 (2)	1 (1)	1 (0)	2 (1)	4 (2)
	フライングディスク	2 (2)	4 (4)	0 (2)	1 (1)	1 (0)	2 (3)
	ボウリング	1 (1)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (1)
	ボッチャ	2 (初)	1 (初)			1 (初)	1 (初)
バレーボール(聴覚男)	7 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
合計	25 (17)	28 (31)	8 (6)	4 (6)	8 (8)	20 (20)	

※個人競技への参加は1人2種目以内(リレーを除く)。陸上の出場種目数には4×100mリレーを含む。

※当初予定より参加者数1減、種目数3減。

ねんりんピックはばたけ鳥取2024開催2年前記念イベントの実施について

令和4年11月21日
ねんりんピック・関西ワールドマスターズゲームズ推進課

ねんりんピックはばたけ鳥取2024の開幕2年前となった10月19日に、県庁で記念イベントを実施しました。大会PRキャラクター「あおや かみじろう」を公表したほか、大会開催までの日数を表示するカウントダウンボードを本庁舎ロビーに設置しました。

【概要】

- 1 日時 令和4年10月19日（水）11時45分～12時00分
- 2 場所 鳥取県庁本庁舎1階ロビー
- 3 内容
 - ・会長挨拶 ねんりんピックはばたけ鳥取2024実行委員会 会長 平井伸治
 - ・関係者挨拶 鳥取県老人クラブ連合会 会長 岡森 裕
鳥取市 副市長 羽場恭一
 - ・太極拳演武 鳥取県武術太極拳連盟代表者 ※太極拳は鳥取市開催種目のひとつ
 - ・カウントダウンボード除幕
 - ・記念撮影

【挨拶概要】

（県老人クラブ連合会・岡森会長）

- ・「地域文化伝承館」を老人クラブが担当し、伝統芸能や音楽、踊りなどの舞台出演と展示を行う。これを機会に伝統芸能の伝承や、地域共生社会の醸成など、世代間交流の進展にも繋げたい。鳥取県の高齢者は元気で活力があること、鳥取県の自然、歴史、文化を全国に発信したい。

（鳥取市・羽場副市長）

- ・ねんりんピック鳥取大会の開催を楽しみにしている。鳥取市では6種目開催することになっており、来年度から担当職員を増強して準備を進めていく。参加者を温かいおもてなしでお迎えし、鳥取に来て良かったと思っただけのよう、県や関係機関と連携を密にして万全の体制を整えたい。

（大会実行委員会・平井会長）

- ・全国から元気なシニアや応援する人に来て頂き、鳥取県で生きがい、友人を作ってもらえるような素晴らしい大会を目指したい。（タイガーウッズ語録より）目標は人が定めるものじゃない、自分で定めるもの、それぞれの目標に向かって羽ばたいてほしい。



添付資料 大会案内チラシ

記念撮影

第2回中山間地域等サポートチーム会議の開催結果について

令和4年11月21日
中山間地域政策課

地域課題の解決に向けた地域づくり活動をこれまで以上にきめ細かく総合的に支援していくため、東部・中部・西部・日野の地区ごとに設置した「中山間地域等サポートチーム（以下「サポートチーム）」の第2回会議を下記のとおり開催しました。

記

- 1 開催日時 10月19日（水）午後2時から午後3時まで
- 2 開催方法 オンライン方式
- 3 出席機関
 - ・県（各中山間地域振興チーム、日野振興局、中山間地域政策課、県民参画協働課）
 - ・とっとり県民活動活性化センター
- 4 主な内容（サポート状況）

地区	対象地域	目指す姿（5月時点）	取組状況（10月時点）
東部	鳥取市 逢坂地区	逢坂むらづくり協議会で生活状況等に関する住民アンケートを実施し、その結果を元に、小さな拠点づくりに向けた組織体制や計画策定などを検討していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会活動の担い手確保のため、県の支援制度（補助金、専門家派遣）を紹介し、実際に外部人材が確保された。 ・旧小学校の利活用の検討の参考とするため、先進事例や視察先を紹介した。視察は11月に実施予定。 ・今後形成する小さな拠点の組織体制整備のため、先行して取り組む他団体の紹介や、住民の意見集約の方法等を助言した。
中部	北栄町 全域	共助交通に興味ある地域等を把握するため、町主催で住民向けに共助交通の研修会を開催し、機運醸成と取組立ち上げに繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・町主導で、共助交通の取組に関心のある住民や社会福祉協議会などとの話し合いが行われ、それを踏まえ、試験運転の実施、振り返り会の開催など、検討を進めている。今後、年度内に2～3か月の試験運転を検討中。 ・県も外部専門家とともにこれに加わり、車両確保・保険・会員集め・会計など、様々な実施上の課題について、助言等を行った。
西部	大山町 大山地区	「地域医療を考える会」を中心とした大山診療所のサロン活動を充実させる。また、コミュニティーカーシェアリングの利用を広める。	<ul style="list-style-type: none"> ・診療所のサロン運営等に関し、外部専門家を招いた地域住民対象のワークショップを開催した。県もこれに参加し、運営上の課題の明確化や他地域の取組の情報共有、助言等を行った。 ・診療所への送迎など、コミュニティーカーシェアリングの潜在需要の掘り起こしが検討されており、県も継続的に伴走支援を実施している。
日野	日野町 菅福地区	R4小さな拠点づくり補助金を活用し、形成に向けた機運醸成、計画策定を進めていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな拠点シンポジウムの開催を契機として、小さな拠点「高宮の郷」を立ち上げた。 ・放置竹林を伐採し、農村景観の再生を図り、竹は竹堆肥生の材料などに活用し地域資源化する取組を進めた。

- 5 今後のスケジュール
 - 各地区において各サポートチームが支援活動を継続し、令和5年2月頃、年度の振り返り及び次年度取組方針等を検討するためのサポートチーム会議を開催予定。

令和4年度中山間地域等活性化・移住定住促進協議会の開催結果について

令和4年11月21日
中山間地域政策課

令和4年度鳥取県中山間地域等活性化・移住定住促進協議会を開催し、中山間地域及びまちなか振興施策の実施状況等について、次のとおり議論を行いました。今回の議論を踏まえて、今後、必要な施策等について検討を進めます。

- 1 日時 令和4年11月11日（金）午後1時30分から午後3時まで
- 2 場所 オンライン開催
- 3 出席者 中山間地域等活性化・移住定住促進協議会委員、県関係部局長等
- 4 報告・協議事項 ・中山間地域振興施策の取組状況等について
・まちなか振興について
・移住定住の促進、関係人口の拡大について
・令和3年山間集落实態調査の結果概要について
・鳥取県過疎地域持続的発展計画の達成状況の評価について

5 委員の主な意見

〔中山間地域振興・まちなか振興に関する意見等〕

- ・市町村の職員も現場に出てきて住民に接するなどの活動をする必要であり、出てきて欲しい。
- ・高齢者や障がい者などから、食事、買い物など困りごとなどに関して行政に相談に行きたいがどこに行けば良いかわからないとの意見を聞く。
- ・小さな拠点づくり等の事業を活用し、既存施設を改修して拠点化や6次産業施設化などをしたが、数年後、老朽化により施設が使用できなくなる場合もある。改めての改修などフォローアップが必要と考える。
- ・デジタル活用の推進に当たっては、デジタルの手前にあるアナログを抜きにしてデジタルの議論はできない。高齢者への支援など課題はアナログであるというのが現実。その際、事業者としては聞こえの良い情報よりも、失敗事例から学ぶことが多いので共有したい。
- ・若い人は企業や地域と繋がりたい思いが強い。金銭の取引ではなく、物々交換、情報交換、時間のシェアなどをゲーム感覚で楽しめるような取組を県で検討してはどうか。
- ・プレゼンやネーミングが悪いと商品は売れない。行政も言語化が大事と思う。堅いものを柔らかい名前にして見ることにより、県民の価値観に刺さったりし、何か変わることがあるのでは。
- ・中山間地域のデジタルは高齢者への使い方支援が大事。慣れていくことで残りの人生でデジタルの活用ができる。民間事業者だけでは採算がとれない。マーケットはどんどん減っていく。

〔移住定住の促進、関係人口の拡大に関する意見等〕

- ・宿泊施設を検討しているが道幅狭くてダメという案件があり、行政がワンストップで相談に乗ってくれるところがあれば良い。また、移住者も増えてきており、住居など様々なサポートが重要。
- ・新規就農者が来てくれたが、住居探しの際、廃墟に近いものばかりで、空き家の紹介が難しかった。住居の確保や暮らしの部分は重要な課題であり、ワンストップで対応できたらいい。

〔参考〕「中山間地域等活性化・移住定住促進協議会」の概要

中山間地域等の振興及び移住定住促進に関する事項を調査審議するために、鳥取県附属機関条例に基づき設置されている附属機関。（現委員任期：令和4年7月6日～令和6年7月5日）

〔会長〕 筒井 一伸（鳥取大学地域学部地域創造コース 教授）

〔委員〕 安藤 文江（倉吉やしろ彩菜家経営） 入澤 由美（NPO 法人 YSS だいせん代表）
太田章太郎（（有）太田酒造場代表取締役） 小林 健治（倉吉銀座商店街振興組合理事長）
小林 直哉（地域自主組織やらいや逢坂会長） 坂本 哲（（株）アクシス代表取締役）
中橋 俊雄（果樹農家、JA 中央倉吉梨生産部長） 中村 彩（（株）nido 代表）
林 富実代（阿毘縁特産グループ代表）

とっとり弥生の王国フェスタ（むきばんだ・青谷かみじち）の開催について

令和4年11月21日
とっとり弥生の王国推進課

令和4年度「とっとり弥生の王国フェスタ」を、むきばんだ史跡公園および青谷上寺地遺跡周辺にてそれぞれ実施しました。

むきばんだ史跡公園では、「大型熱気球搭乗体験」や米子商工会議所青年部による「よなご・マルシェ」などを初めて実施したほか、県内外からの考古系施設による「特別古代体験」、地元高校生の郷土芸能やダンスをはじめとする「ステージイベント」も行いました。

青谷上寺地遺跡では、来年度の史跡公園開園のプレイベントとして開催。「青谷弥生人に会える」「弥生時代へタイムトラベル」をテーマに、飲食ブースや弥生体験ブースを設け、ステージイベントも開催。自分なりの弥生人コスプレで来場された方には記念品をプレゼント。さらに「青谷弥生人」そっくりさん10名も集合し、会場を盛り上げました。

■ むきばんだフェスタ

(1) 日 時 令和4年10月16日（日）10時から15時まで

(2) 会 場 鳥取県立むきばんだ史跡公園

(3) 参加者 約2900人

(4) 内 容

ア 空んぼむきばんだ（8時から正午まで）

○事前および当日申し込み2000人以上のうち約300人が乗船

イ よなごマルシェ

○カレーやジェラート、洋菓子など販売者約40店舗が参加。

ウ 弥生体験コーナー

○県内外12の団体による銅鐸ペーパークラフトや貝輪づくりなど。

■ 青谷かみじちフェスタ

(1) 日 時 令和4年11月13日（日）10時から15時まで

(2) 会 場 鳥取市青谷町農林漁業者トレーニングセンターほか

(3) 主 催 鳥取県・鳥取市・青谷地域にぎわい創出実行委員会

(4) 参加者 約1800人

(5) 内 容

ア オープニングセレモニー

○「青谷弥生人」そっくりさん10名が登場し、グランプリの吉田さんが、本イベントの「一日国王」に就任する寸劇を披露。知事が国王就任への祝辞を述べる。

○兵庫県立相生産業高等学校の生徒たちが製作した東伯郡湯梨浜町泊出土銅鐸の忠実な復元品が、とっとり弥生の王国に寄贈され、本イベントで贈呈式を実施。

イ グルメコーナー

○「青谷上寺朗カレー」や「脳みそパフェ」など地元の飲食店が弥生人にちなんだグルメを販売。

ウ 弥生体験コーナー

○県内外12の団体による勾玉づくりや銅鏡づくり、発掘体験BOXなど。

○現在行われている青谷上寺地遺跡の第20次発掘調査や史跡公園の整備工事の様子の見学会を実施。

エ 集え！なりきり弥生人

○「なりきり弥生人」の中の希望者によるコンテストを実施。「青谷弥生人」そっくりさん10名による審査を行い、参加者9名の中から、「弥生犬」のコスプレをした3歳の女の子が1位に選ばれた。

